

✓ 会議での出張削減

✓ Web会議の音質向上

✓ 会議音漏れ防止

✓ 情報漏えい対策



KONICA MINOLTA

## コニカミノルタ ジャパン株式会社 様

本社:東京都港区芝浦1-1-1 浜松町ビルディング  
設立:1947年(昭和22年)  
代表者:原口 淳  
資本金:3億9,710万円  
事業所/国内33カ所  
従業員数/3,508名 ※2018年4月現在

導入機種: YVC-1000/1台(+拡張マイクYVC-MIC1000EX/2台)  
VSP-1/2台  
導入時期: 2018年9月の新拠点開設にあわせ導入  
基本構成: 20名規模が参加できる新拠点の会議室にYVC-1000+YVC-MIC1000EXを導入。他拠点とつなぎ頻りに開催される中・大規模会議(Skype for Businessを利用したWeb会議)で“音声聞き取りにくい”課題を改善。あわせて、隣接する受付スペースにVSP-1を設置し、会議室や事務スペースから漏れてくる会話などが聞き取りにくくなるよう対策。

# 会議では“聞き取りやすく”、受付では“聞き取りづらく” 隣接スペースで正反対のニーズを、ヤマハの2製品で解決!

### YVC-1000 / VSP-1 活用効果のポイント

Web会議の“聞き取りにくさ”を  
YVC-1000+YVC-MIC1000EXで解決

受付スペースへの音漏れをVSP-1で  
マスキングし情報漏えいを防止

リーズナブルな価格ながら、  
工事不要で理想的効果を得ることに成功



#### ■ 新拠点開設に際し「Web会議の音声品質」と「受付スペースへの音漏れ」が課題に

- 新拠点では、他拠点と中・大規模のWeb会議を頻りに実施
- 既存マイクスピーカーは性能不足で音声が聞き取りづらい
- 聞き取りやすいような大きな声を出すと外に音が漏れる心配も

2018年9月、東京都港区に新しいサービス拠点を開設したコニカミノルタ ジャパン株式会社。業務スペースは流行のカフェスタイルで、大きなテーブルや窓に面したカウンター席、2~3名の打合せに最適なハドルスペースなどがゆったりとレイアウトされています。この業務スペースと仕切り壁を隔てて接する会議室には、用途や参加人数でレイアウトを自由に変えられる台形のテーブルが配置されています。自ら“働き方改革”を実践する上での理想を追求した新しいオフィスですが、構想・設計段階から、①中・大規模のWeb会議開催時に音声が聞き取りにくい、②会議室や業務スペース会話など音声が受付スペースに漏れて聞こえてしまう…という2つの懸念が指摘されていました。

#### ■ 中・大規模Web会議での“聞き取りにくさ”をYVC-1000+YVC-MIC1000EXで解決

- YVC-1000+YVC-MIC1000EXで中・大規模Web会議の音声品質を改善
- レイアウトに合わせて自由に配置しボタン一発で音声最適化できる

最大20人規模が入れる新しい会議室では、Skype for BusinessベースのWeb会議が頻りに行われますが、既存のマイクスピーカーは小規模向けということもあり、参加者が10名以上になるようなケースでは、マイクスピーカーから

遠い人は音声が聞き取りにくいという課題がありました。そこで、中・大規模の会議にも対応する製品を新たに導入することに。Webなどで高評価のヤマハ製品をヤマハ東京事業所で体験するなどした結果、最大40名規模まで対応可能なスピーカーフォン「YVC-1000」1台+専用拡張マイク「YVC-MIC1000EX」2台の導入が決まりました。導入の決め手は、高性能マイクと高出力スピーカーが実現する期待通りの音声品質のほか、その時々テーブルレイアウトに合わせて本体や拡張マイクを配置しつつ、ボタン一発で音声を最適化できるセットアップの容易性、そして、これらを10万円台で実現するコストパフォーマンスの高さです。

#### ■ 受付スペースに漏れてくる会議室や業務スペースの“音”をVSP-1でマスキング

- 会議室/業務スペースの音が受付スペースに漏れて聞こえてしまう
- 工事不要&低コスト(1台10万円)のVSP-1で音漏れをマスキング

もう1つの懸念は受付スペースへの音漏れでした。受付スペースは取引先など社外の人々が利用するため、情報セキュリティの観点からも対策が求められていました。こうした中、スピーカーフォンの体験で出向いたヤマハ東京事業所で、スピーチプライバシーシステム「VSP-1」と出会います。天井埋め込みなどの工事が必要で高額な他メーカー製品に対し、工事が不要で一桁少ないコストで導入できるVSP-1は非常に魅力的です。受付スペースから会議室/業務スペースへのドア周辺に、それぞれVSP-1を設置(1台は床置き、もう1台は壁面に)することで、漏れてくる音を聞き取りにくく処理することができました。自然の音を織り交ぜたマスキング音は“心地よく爽やかな印象”と社員からも好評です。

ご利用  
いただいた  
機器

YVC-1000

希望小売価格:120,000円(税抜)  
JANコード:49 57812 55991 1

8~40人規模の中大会議に最適、  
マイク1台で8人規模、5台まで連結可能。

VSP-1

希望小売価格:100,000円(税抜)  
JANコード:49 60693 23576 8

周囲に聞き取られにくい快適な音空間を提供。  
会話から漏れてしまうプライバシーや機密情報を守ります。

お客様の声



コニカミノルタ ジャパン株式会社  
関東支社 関東サービス統括部  
兼) 東京支社 東京サービス統括部  
統括部長

安田 俊昭 様



コニカミノルタ ジャパン株式会社  
東京支社 東京サービス統括部  
東京サービスセンター  
東京第1サービスグループリーダー

北村 友和 様

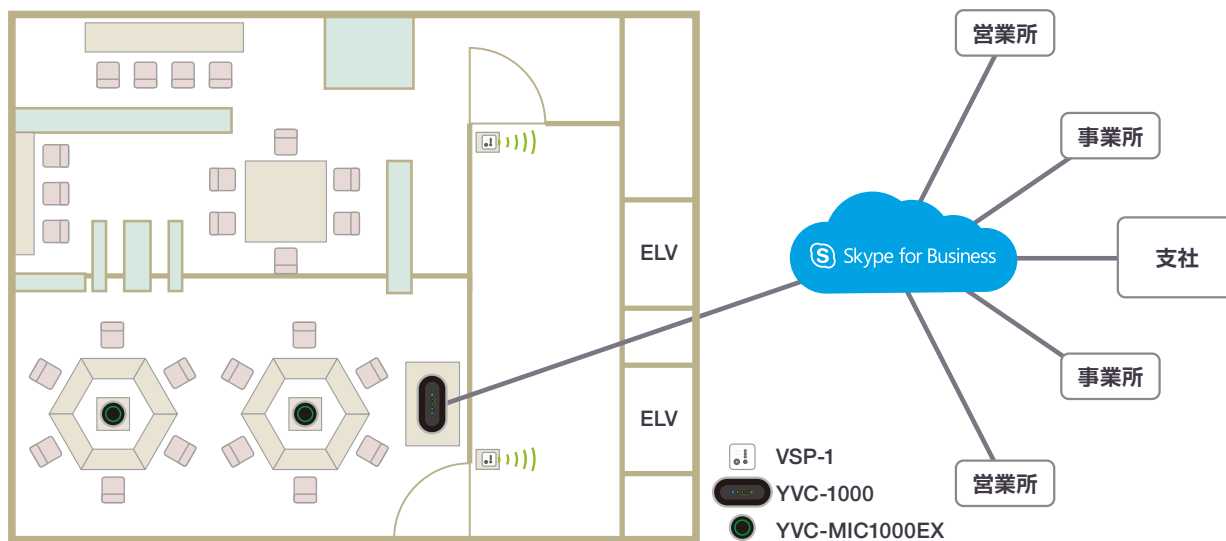
お客様の“働き方改革”を支援していく上で、  
オフィス空間における課題解決のモデルケースとなりました

“働き方改革”支援サービスを事業の柱に位置付ける弊社では、2014年以降、オフィスのWi-Fi&フリーアドレス化、フレックス制やテレワークの導入・推進など積極的に取り組んできました。今回の新拠点も、働き方改革に資する理想のオフィス空間を目指して準備を進めてきました。受付スペースへの音漏れについてはVSP-1によるマスキングと、Web会議中に大きな声を出さなくて済むYVC-1000の導入で二重に対策をすることができました。来訪される方々に“ガバナンスの効いた信頼できる会社”であることを印象付けることができ、同様の課題やニーズをお持ちのお客様にも是非ご紹介していきたいと思えます。

コニカミノルタ ジャパン株式会社様におけるYVC-1000／VSP-1の活用方法

- 中・大規模のWeb会議(Skype for Business)において、PCにスピーカーフォンYVC-1000を接続(参加人数やテーブルレイアウトに合わせ、拡張マイクYVC-MIC1000EXを2台まで追加配置)することで、相手方を含め会話の聞き取りやすさを大幅に改善。
- 会議室やオフィス空間の社員同士の会話などが受付スペースに漏れて聞こえるのを防ぐため、受付スペース内2カ所にVSP-1を配置し聞き取りにくくマスキング処理。
- VSP-1の設置箇所や、8種類の情報マスキング音のどれを流すのが効果的か…などについて、ヤマハの担当者が現場を訪問してアドバイス。

コニカミノルタジャパン株式会社 様 設置/接続イメージ図



YVC-1000の製品情報はこちら

<https://sound-solution.yamaha.com/products/uc/yvc-1000/>

VSP-1 の製品情報はこちら

<https://sound-solution.yamaha.com/products/speechprivacy/vsp-1/>



●本資料に記載された製品名および企業名は、各社の登録商標または商標です。



感動をともに創る

製造元  
ヤマハ株式会社

〒430-8650 静岡県浜松市中区中沢町10-1  
2018年11月作成

音声コミュニケーション機器お客様ご相談センター

■ お電話によるお問い合わせ先 ☎03-5651-1838 ■ FAXによるお問い合わせ先 ☎053-460-3489

ご相談受付時間 9:00~12:00 13:00~17:00(土・日・祝日、弊社定休日、年末年始は休業とさせていただきます。)

メールでのお問い合わせはこちら <https://sound-solution.yamaha.com/support/uc/>

スピーチプライバシーシステム 製品・ご購入 相談センター

■ お電話によるお問い合わせ先 ☎03-5488-6844

ご相談受付時間 9:00~12:00 13:00~17:00(土・日・祝日、弊社定休日、年末年始は休業とさせていただきます。)

メールでのお問い合わせはこちら <https://sound-solution.yamaha.com/support/speechprivacy>